



市制施行60周年記念事業 県内一長い桜並木の愛称は 「はだの桜みち」

県道62号・西大竹交差点から県道706号・新橋交差点（堀山下）までの区間には、約6.2kmにわたって桜並木が続いています。この桜並木は、県内一の長さを誇り、毎年春になると、美しい桜のアーチが人々の目を楽しませてくれます。



この道を観光名所として広くPRするとともに、市民の皆さまに愛着を深めていただくため、愛称の募集を行い、「はだの桜みち」に決定しました。

1 ところ



2 愛称の選定について

昨年9月～10月にかけて、市内在住・在勤・在学の方を対象に、市ホームページや広報はだので募集した結果、計149件の応募があり、関係団体等で選考委員会を組織し、決定しました。

(1) 作者

矢部 慎一さん（43歳・戸川在住）

【コメント】

秦野市民の皆さんに永遠に愛される「みち」になってほしいという思いを込めて名付けました。

【賞品の贈呈】

作者の矢部さんには、4月4日（土）の午前11時から、中央運動公園で開催される「第32回秦野桜まつり」のオープニングセレモニーの中で賞品を贈呈します。

(2) 選定委員

南・西地区自治会連合会、商工会議所、農協協同組合、観光協会、市

【講評】

◇覚えやすく、親しみが持てる。

◇視覚的に分かりやすい。

◇「はだの」という地名が入ることで、市外にPRができる。

3 愛称看板の設置について

桜並木の沿道に、愛称名を記した表示看板と愛称を付けるに至った経過、地図及び桜並木の写真等を掲載した解説看板を設置します。

(1) 看板デザイン 別紙のとおり

(2) 設置予定数 表示看板10か所、解説看板2か所

問い合わせ 企画課 電話0463（82）5101